



リモート（ワイヤレス）方式の温度コントローラの基本的な使い方

1. ジャケット（WS-J LM4）の左ポケット内の奥に、温度コントローラの受信機をピッタリと収納出来る小ポケットがございますので、そこに受信機を挿入して下さい。
ヒートッドパンツなどを併用される場合は、小ポケットからジャケット内部を貫通して裏側にケーブルを通す事が出来る構造になっております。
受信機は防水構造なので、ジャケットにセットしたまま水で手洗い可能です。
(但し、ドライクリーニングや洗濯機の使用は絶対に避けて下さい)
2. ジャケット左ポケット内に来ているジャケット電源供給用のケーブル・コネクタを受信機に繋いで下さい。
3. 受信機から出ている電源供給用のケーブルを左ポケットから外に出して、バッテリーハーネス（WS-AC-16）に繋いで下さい。
(この状態で全開の33%温度設定での発熱を開始します)
4. その状態で、コントローラの送信機のダイヤルをONにすると、受信機は送信機からの命令を受けて、ダイヤルの位置によりお好みの温度に設定されます。
ダイヤルを左一杯にクリックする所まで廻すとOFFになり、受信機からジャケットへの電源供給は止まります。
再度右に廻してONにすれば、また送信機からの命令を聞くようになります。
送信機内のバッテリー消耗を防ぐ為、ダイヤル操作後に数回点滅（これはコントローラの命令を受信機がアクセスした事を知らせています）した後に1～2秒でLEDは消灯しますが、故障ではありません。
5. バイクから離れる時は、3. の操作で繋げたバッテリーハーネスを受信機から外して降りて下さい。
その時送信機のダイヤルの位置がどこに設定されていても、バッテリーハーネスを外すと同時に、通電はOFFになり発熱は止まります。
送信機のダイヤルがONのままだと、微電流ですが送信機内のバッテリーを消耗しますので、左一杯クリックする所まで廻してOFFにして下さい。
(仮にそのままONで放置しても、コントローラの電源はバッテリーセーブの為に約30分後に自動でOFFになります)

Warm & Safeヒートッドインナー用温度コントローラの詳しい動作説明につきましては、別紙<リモートタイプ（ワイヤレス）温度コントローラの動作説明>をご参照下さい。

Warm & Safeヒートッドインナー国内総輸入代理店
株式会社キャピタル販売

2013.09-1000